| 学校番号 | 207 |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「書Ⅱ」　（光村出版） | | | | | | |
| 副教材等 | ペン習字の基礎　（教育図書出版） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢字では篆書体や隷書体などの古代の書体を学習し仮名では百人一首に取り組むなど、１年次よりも内容を深化させていきます。
・「漢字仮名交じり書」や「刻字」に取り組むなど、書学習と書表現の領域を広めることに取り組んで行きます。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。
・年度末に作品展を催し、相互鑑賞の場を設けます。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
隷書・篆書・草書体の歴史と技法、より高度な仮名散らし書きの技法、漢字仮名交じり制作の技法、刻字作品の技法等の理解と習得を目指します。
【思考力、判断力、表現力等】
五書体の特徴を活かした漢字創作、墨の潤渇効果を活かした仮名作品、文字の大小や行の配置を工夫した漢字仮名交じり作品等の制作を通して、思考力・表現力等の育成を目指します。
【学びに向かう力、人間性等】
より高度な表現が出来るよう研鑽を積み重ね、書の伝統と文化についての理解を深めることによって、生涯にわたり書を愛好する心情等を育みます。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の表現方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。<br>書写能力の向上とともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。<br>作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わっている。 | 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。<br>書作品について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 漢字の学習 | 篆書、隷書、草書の古典臨書を通じて、漢字の書を構成する多くの要素を理解するとともに、表現形式を学習する。<br>書体に即した用筆・運筆を活かし、全体構成を工夫して作品を作る。<br>3書体による２字創作 | a:書体の成立過程や特徴を理解し、効果的な表現技法や構成の技能を身につけている。<br>b:書体の書道史的価値や現代的意義を理解し、書風や美を感受している。<br>c: 意欲的に制作・鑑賞活動に取り組もうとしている。 | プリント<br>清書作品 | プリント<br>清書作品 | 振り返りプリント<br>練習作品<br>観察 |
| | 刻字の学習 | 既習の書体を用いて、1～２字の言葉を木板等に刻す。多様な彫り方を知る。 | a:書体の用筆法を理解し、彫り方や彩色により、効果的な表現方法を身につけている。<br>b:彫り方や彩色による表現効果の違いを感受し、刻字の現代的意義を捉えている。<br>c:主体的に刻字作品の制作・鑑賞活動に取り組もうとしている。 | プリント<br>清書作品 | プリント<br>清書作品 | 振り返りプリント<br>練習作品<br>観察 |
| 2学期 | 硬筆の学習 | 硬筆の学習<br>＊１年に渡り随時実施 | a:字形の整え方を理解し、基礎的な字形・書式の技法を身に付けている。<br>b:技能の習得に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。<br>c:硬筆に親しみ、積極的に取り組んでいる。 | 硬筆手本<br>完成度 | 硬筆手本 | 硬筆手本<br>進捗状況<br>観察 |
| | 仮名の学習 | 仮名単体と変体仮名の復習。百人一首を用いて散らし書きを学ぶ。<br>・変体仮名<br>・連綿<br>・百人一首 | a: 変体仮名・連綿・散らし書きについて理解し、表現を工夫している。<br>b:変体仮名・連綿・散らし書きについて関心を持ち、表現技法を高めようとしている。<br>c:主体的に仮名作品の制作・鑑賞活動に取り組もうとしている。 | プリント<br>清書作品 | プリント<br>清書作品 | 振り返りプリント<br>練習作品<br>観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 漢字仮名交りの書 | 好きな漢字一字を大書し、その字に相応しい30字程度の詩（言葉）を添えて色紙大の作品を作る。 | a：漢字仮名交じり文の要素（線質・字形・構成等）、古典や現代作品の用筆・運筆との関わりについて理解している。<br>b：表現の狙いを定め、今までの学習で得た知識・技能を活かして構想を練っている。<br>c:主体的に漢字仮名交じり作品の制作･鑑賞活動に取り組もうとしている。 | プリント<br>清書作品 | プリント<br>清書作品 | 振り返りプリント<br>練習作品<br>観察 |
| 3学期 | 表装 | 自身の作品を簡易表装する。 | a:裏打ちの技法と効果を理解し、自身の作品に活かしている。<br>b:製作意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫している。<br>c:主体的に表装を通しての表現活動に取り組んでいる。 | プリント<br>表装作品 | プリント | 振り返りプリント<br>観察 |
| | 美書展 | 作品の鑑賞活動をする。 | a：既習分野を再認識し、感想・批評を言語化することで知識技能の深化を図る。<br>b ：互いに鑑賞･批評し合うことによって、表現の意図や効果の理解を深めている。<br>c:他者の作品にも関心を持ち、主体的に鑑賞に取り組んでいる。 | 鑑賞メモ | 鑑賞メモ | 鑑賞メモ<br>観察 |
| | 臨書集大成 | 指定した古典作品から数点を選び臨書する。各書体の用筆・運筆を再確認する<br>曹全碑、孟法師碑、書譜他 | a：古典の用筆運筆法を理解し、書道史的価値や美を理解・感受している。<br>b：書風の違いと表現の要素を理解し臨書に活かしている。<br>c ：数多く臨書し、意欲的に表現を工夫しようとしている。 | プリント<br>清書作品 | プリント<br>清書作品 | 振り返りプリント<br>練習作品<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度